

議会報告会実施報告書（議長報告用）

| | |
|----------------|--|
| 開 催 日 時 | 令和7年11月4日（火） 18：00～ 18：30 |
| 開 催 場 所 | 信夫学習センター 1階ホール |
| 出席議員及び役割分担 | 班長：斎藤正臣 副班長：高木直人 司会：高木直人 報告者：（総務）三浦由美子（文教福祉）羽田房男 (経済民生)渡辺敏彦 (建設水道)二階堂武文 (議員定数に関する調査特別委員会)半沢正典 記録等：佐々木優 |
| 参 加 人 数 | 6人 |
| 議会報告会の報告に対する質疑 | 報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。 |

令和7年11月21日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会3班 班長 斎藤正臣

意見交換会実施報告書（議長報告用）

| | |
|------------|--|
| 開催日時 | 令和7年11月4日（火） 18:30 ~ 19:15 |
| 開催場所 | 信夫学習センター 1階ホール |
| 出席議員及び役割分担 | 座長：斎藤正臣 司会：高木直人 班員：三浦由美子 羽田房男 渡辺敏彦 二階堂武文 半沢正典 佐々木優 記録：佐々木優 |
| 参加人数 | 6人 |
| 意見交換会の概要 | <p>Q 1 : 不登校の増加に対する対策について 不登校児童生徒が全国で35万人と心配な状況だが、どのような対策か。</p> <p>A 1 : 市内のフリースクール等で対応している。</p> <p>Q 2 : 市民の暮らしについて 米5キロの値段が高い。車検代は年金2ヶ月分よりかかった。市民の平均年収を市は把握していない。それで市政運営ができるのか。自殺者も増えている。学校の支援員は一人当たり年間180万円の予算。喫煙所設置に2,000万円もかけている。もっと必要なところにまわせるのではないか。駅前再開発に600億円。福島市議の報酬は高いのだから市民のために働いてほしい。市の一般会計1,200億円を審議して決める権限が市議にはある。（意見）</p> <p>Q 3 : 下水道整備について 市内の下水道の調査や整備の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>A 3 : 他自治体と比較しても進んでいてまもなく終了する状況。 事故が発生した埼玉県の下水管は3メートル以上で、福島市の下水管は大きくななく、ロボットで下水管内部から調査できる。</p> <p>Q 4 : 道路環境の整備について 国際観光都市に認定されたが、道路に雑草が生える状況をきれいにしてほしい。県道だから関係ないではなく、県と協力して整備してほしい。歩道橋にも雑草が生え、酸化して穴が空いている部分もある。</p> <p>A 4 : 市に改善を求める働きかけをしている。きれいな街にしていくため議会も取り組んでいく。</p> |

- Q 5 : トイレカー、議会傍聴について
市はトイレカーを購入するが、納期が令和9年3月と2年後。災害はいつあるかわからないので早くしてほしい。議会傍聴でカード（パスポート）にハンコを押してもらうが、10回傍聴したらボールペン1本もらえるなど、面白味のあるものにしてはどうか。
- A 5 : 全国で災害が多発しトイレカーが不足している状況。傍聴パスポート等今後議会でも検討していく。
- Q 6 : 議会図書館、議員の報酬について
5、6回使用したが、市の付則例規集など置いてほしい。利用する際、受付して札を渡されるが自由に使いたい。職員が利用している様子がない。利用しやすい工夫も必要ではないか。議員も知的レベルを上げないと様々な問題に対応できない。議員の報酬は下げる必要はない。
- A 6 : 議会内の検討会もあるので今後検討していく。
- Q 7 : トイレカーについて
1台3,080万円のトイレカーのランニングコストを市に問い合わせているが返事がない。女性用トイレを増やすべき。（意見）
- Q 8 : クマ対策について
個体数が増えているのではないか。食料があれば戻ってくるので駆除すべきではないか。
- A 8 : 市長判断で9月から緊急銃猟が一定の条件下で出来るようになった。これまでの様々な経過も含めて住民に怪我がないよう十分注意していく。
- Q 9 : 学校教室等の断熱について
教室等のエアコン設置が進んでいるが、断熱効果も高めていくべきではないか。長野県では高校生が学校施設に断熱材を設置して効果を発揮している事例もある。
- A 9 : 断熱設置について効果が未知数。登録事業者の指名停止などの事例もあり技術者不足の実態もある。今後議論していく。
- Q 10 : 議会図書館について
どんな本を読めばいいかなど相談できる図書館司書がいたらいいのではないか。
- A 10 : 蔵書の提案など議員も要望を出している。よりよい図書館になるよう検討していく。

令和 7 年 1 月 21 日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 3 班 班長 斎藤正臣

議会報告会実施報告書（議長報告用）

| | |
|----------------|---|
| 開催日時 | 令和7年11月6日（木） 13：30～15：00 |
| 開催場所 | 蓬萊学習センター（分館） 2階ホール |
| 出席議員及び役割分担 | 班長：川又 康彦 副班長：佐原 真紀 司会：佐原 真紀 報告者：（総務）村山 国子（文教福祉）丹治 誠 （経済民生）佐藤 勢（建設水道）小松 良行 （議員定数に関する調査特別委員会）川又 康彦 記録者：鈴木 正実 |
| 参加人数 | 12人 |
| 議会報告会の報告に対する質疑 | 報告に対する質疑については、意見交換会で伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。 |

令和7年11月17日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会4班 班長 川又 康彦

議会報告会実施報告書（議長報告用）

| | |
|------------|--|
| 開催日時 | 令和7年11月6日（木） 13：30～15：00 |
| 開催場所 | 蓬萊学習センター（分館） 2階ホール |
| 出席議員及び役割分担 | <p>班長：川又 康彦 副班長：佐原 真紀 司会：佐原 真紀 報告者：（総務）村山 国子（文教福祉）丹治 誠 （経済民生）佐藤 勢（建設水道）小松 良行 （議員定数に関する調査特別委員会）川又 康彦 記録者：鈴木 正実</p> |
| 参加人数 | 12人 |
| 意見交換会の概要 | <p>Q1：蓬萊学習センター大ホールのエアコンが数年前から故障したまま、ずっと放置されている。避難所にもなっており、夏に災害が発生したら熱中症の心配もありどこに避難すればいいのか。いつ直るのか議会としてしっかり取り組んでもらいたい。</p> <p>A1：今すぐにということは難しいが、課題を共有し取り組みます。また9月定例会議で予算確保について質問しましたが、今後も市議会で聴いていきたい。なお、蓬萊中体育館へのエアコン設置について、予定を前倒しして来年度に設置する予定である。</p> <p>Q2：所得が低い人や独居老人、生活困窮者など住宅の確保に配慮を要する人たちの住まいに関するさまざまな課題の解決を図るため「福島市居住支援協議会」が10月に立ち上がったと聞いた。30年ほどたつと、家も持たず、低年金、低所得の就職氷河期の人たちが増えると見込まれるが、議会はどのような認識を持っているのか。協議会において、福島市は率先してこうした事態に取り組んでほしい。</p> <p>A2：行政機関をはじめ福祉、不動産、居住支援法人など、官民が連携し包括的な支援協議会が立ち上がったのは承知している。さらにご意見を参考にさせていただきしっかり取り組んでまいりたい。</p> |

Q 3：蓬萊地区は 50 数年前に整備された人工的な町で、同じ時期に同じ年代の人たちが一斉に住んだ。50 数年たつとその人たちが一斉に高齢化を迎えるという地区。これは福島市で初めてのケースである。一方、地区の介護認定率は市内で下から 2 番目で、健康なお年寄りが多い地域である。健康老人をどのように持続していくかが蓬萊地区の課題。万が一介護を使った時の連携など市内のモデル地区にもなりうる。今後一斉に進む高齢化の中で行政がどういう構想を練るか、蓬萊地区にはそのモデル形態がある。介護、施設整備と同時に健康を持続することも議会で取り上げてほしい。

A 3：貴重な意見として承る。

Q 4：議員定数に関して、今回 1 減のみで報酬は維持するということだったが、今後報酬を維持するため定数をさらに減らす、あるいは他の自治体に合わせて報酬を上げるということはあるのか。個人としては隅々の声を拾うためには定数を増やすということもあり得ると思っているのだが。

A 4：今回の定数の在り方検討においては、報酬についての話はなかった。あくまでも定数の在り方についての検討のみ。検討会の中では増やすという意見もあったが、人口減少の中ではそれに合わせて削減するのがしかるべきではないかという声が多数を占めた。

Q 5：ごみ問題について、役所と市民の共同で取り組むべきと思っているが、市担当課の職員の横柄な態度に不満を持っている。これまで緩やかだった細かいルールの変更も、前もって告知することもなく、ある日突然変更し持ち帰らない対応であった。言葉は悪いが傲慢（ごうまん）そのもの。分別についてルールを守らない市民がいるのも事実だが、より丁寧に説明するなど、もっと市民寄りの対応をしてほしい。

A 5：ゴミの減量は大きな課題の一つ。市内のごみはようやく減って来てはいるが、ここ半年、さらに厳しく対応している。しかし市民の協力なくして減量化は進められない。市民の協力をどのように受けながら減量化に取り組

んでいくのか大きな検討課題として、今日頂いた意見を参考にさせていただき進めていく。

Q 6：議会報告会に何度か参加し、意見交換は本当に大切だと思っている。資料にあるアンケートについて、開催日についての質問があるが、来ている人に聞くより、この場に来れない人がどうしたら来れるかという方向で意見を吸い上げていただき、より多くの方が参加できるようにしてほしい。これまでのアンケート内容も考慮、反映した有意義な会としてほしい。希望を言えば、回数を増やしてもいいのではないかと思う。夜、週末の会にも参加したが、平日昼だけだと意見も偏ってしまうのではないか。多くの意見が拾えるような開催日、回数、日程を検討してもらいたい。

A 6：ご意見として承る。

Q 7：廃校となった小中学校の利活用について、どのように考えているのか伺いたい。保護猫、犬のシェルターに使えればいいのにと思っている。

A 7：利活用については地域の方々と市が話し合いを持ちながら、決めていくのが基本。これまで様々な使い方をしている。シェルターについてはご意見として承る。

Q 8：空き教室の利用についてお聞きしたい。

A 8：学童保育で使っている。また市では子どもベースとして、子どもの居場所を各地区に作るという考え方があるようだ。

Q 9：町内会の市政だよりの配布について、高齢の方が担っており気の毒である。Webなどを活用していくことはできないのか。また、町内会費についても電子的に決済する仕組みは作れないのか。

A 9：電子回覧板を導入している町内会もあり、さらにデジタル化を推進しているところである。

Q 10：デジタル回覧板ほぼほぼやっていないのが実状。なぜ取り組んでいないのか調査して、導入する地域が増え

るよう取り組んでもらいたい。また議会の動画配信について、興味があるところを探すのが大変、ユーチューブのように頭出しができるようにしてほしい。

A 10：ご意見として伺う。

Q 11：福島駅周辺の空洞化がひどく、何の魅力もない。もっとスピードを上げ、われわれが足を向けたくなるような整備をお願いしたい。

A 11：福島駅東口の再開発については現在、停滞している。多くの皆さまがまちの賑わいに強い懸念を持っていると認識している。諸物価高騰、コロナ禍などにより昨年7月に事業計画を見直し大きな転換点を迎えた。先ごろお示しした、完成予想図を基に実施計画を策定しなるべく早い完成を目指し、官民、財界等含め取り組んでいる最中である。もう少し時間はかかるが、お待ちいただきたい。一方でこの10、11月には毎週のように駅前で、さまざまなイベントを開催し、交流人口の維持、賑わいをつなぎ止めようと努めている。また中心市街地に新たな出店や企業の進出を促すため、さまざまな補助メニューを設け取り組んでいる。

令和7年11月17日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会4班 班長 川又 康彦